令和３年度発掘調査情報

前田遺跡（まえだいせき）

調査中

調査期間	令和２年４月～
場所	伊達郡川俣町字小綱木字前田
該当時代	縄文時代中期～晩期、奈良・平安時代
調査原因	国道114号（山木屋Ｉ工区）改良工事

プロジェクト前田

～前田遺跡発掘調査終末期～

【以下、プロジェクトＸ風に読んでいただけると雰囲気がでます。】

前田遺跡は、１・２次調査で、木胎漆器や漆塗土器が出土し、非常に難しい調査になることは、わかっていた…

その中で、遺跡調査部は以下のメンバーを招集して、調査を担当させた…

前田遺跡担当課長：Ｋ・Ｉ

前田遺跡調査班長：Ｔ・Ｍ

遺跡調査部のエース：Ｓ・Ｎ

山形県からの助っ人：Ｃ・Ｓ

伝説の発掘屋：レジェンドＳ・Ｍ

この布陣で第３次前田遺跡発掘調査は、開始された…

（発掘調査風景）

しかし、やはり前田遺跡は手ごわかった…

次々と現れる柱穴、土坑…

足元には、掘れない土などなかった…　すべてが遺構であった…

（発掘調査風景）

（発掘調査風景）

柱穴内には、縄文時代晩期の柱が起立していた…

「まさか…縄文時代の木材が残っているなんて…」

その場にいる誰もが目を疑った…

（重複する木柱）

これら100本を超える柱は、我々の調査を妨げる柵のようにも見えた…

（木材で固定されている柱）

（礫が埋め込まれた柱穴）

ある日、エースＳ・Ｎの叫び声が…

「こ・これは、頭蓋骨ではないのか！」

（94号土坑出土人骨出土状況）

その後、次々と見つかる縄文人骨…

唖然とする調査員と作業員…

さすがのレジェンドＳ・Ｍも立ちすくみ「手に負えない…」とつぶやいた…

重複に重複を重ねる住居跡や土坑、柱穴…

眼前に現れる縄文時代の柱、縄文人骨…

おびただしい量の縄文土器・石器類…

『強烈』である…

誰かが言った…「もう、お手上げだ…」

それを聞いていた班長Ｔ・Ｍは、「まだできる。あきらめるな！俺は信じる！前田遺跡調査班を‼みんなを信じる‼心を燃やせ‼」

と鼓舞し続けた…

前田遺跡調査班員は、その言葉に答えてくれた…

そんな時、各部署から前田遺跡の調査に協力するために、代わるがわる大勢の仲間が集まってくれた…

班長Ｔ・Ｍは嬉しかった…　心の中で嬉し泣きをした…

（発掘作業風景）

その後も、雨天の中、酷暑の中　前田遺跡調査班員は調査を続けた…

（竪穴住居跡調査風景）

（発掘調査風景）

しかし、

前田遺跡の調査の過酷さが、少しずつ調査員の体にダメージを与えていた…

あまりの厳しさにある者は膝を痛め…

またある者は腰を痛めた…

みんなが疲弊していった…

粛々と進めた調査…

どれだけ時が経ったのか…

季節の変化にも気づかずに…

（47号住居跡）

（土偶出土状況　土器の布団あり）

（土偶出土状況　土器の布団をペロン）

（95号土坑出土人骨）

（ヒスイ製垂飾品）

（164号土器埋設遺構）

季節は、いつの間にか冬になっていた…

膨大な遺構に加えて、厳しい寒さと雪が調査の手を遅らせた…

（厳冬期の発掘調査風景）

年末、年を開けても調査は続いた…

（発掘調査風景）

少しづつでも調査は進展していた…

いつしか…

縄文人の痕跡が認められない層まで、掘り進んでいた…

「終わりが近い…」調査員みんなが確信した…

長い闘いであった…

長い調査であった…

令和３年２月26日、今年度の前田遺跡の調査は終了した…

「本当に終わったんですね…」エースのＳ・Ｎは、尋ねた…

「終わったんだよ…終わったんだ…」班長Ｔ・Ｍは、かみしめるように答えた…

唇を固くかみしめ、固く結んだ握りこぶしは天を指していた…

彼らを支えたものは何だったのか…？

文化財に対する熱い思いなのか…？

使命感だったのか…？

町の歴史への誇りと郷土愛だったのか…？

～エピローグ前田～

前田遺跡は今年度の調査は終え、養生されたまま次年度の調査まで静かな時をむかえていた…

（前田遺跡令和３年度発掘調査区）

すでに…

調査員たちは次年度の準備を進めている…

ある者は、整理作業に向けての作業を行っていた…

（土器の接合のためのリスト作成）

またある者は、次年度の作業員雇用のための説明会を開いていた…

彼らに休息などない…

プロジェクト前田を完結するために…

前田遺跡日記

みなさんもすなる日記といふものを、我々もしてみむとて、するなり。

～第１巻　　Reスタート　前田遺跡～

令和3年度の前田遺跡調査班は、山積みの遺物と膨大な図面に囲まれてのスタートとなりました。

（接合作業が済んだ土器）

４月１日には、人事異動などで前田遺跡調査班に新たなメンバー3名が着任しました。

会津縦貫南発掘調査事業から異動したPCの使い手：K・Yさん。

昨年度尽力いただいたC・Sさんと交代で山形から助っ人に来てくれた：M・ Aさん。

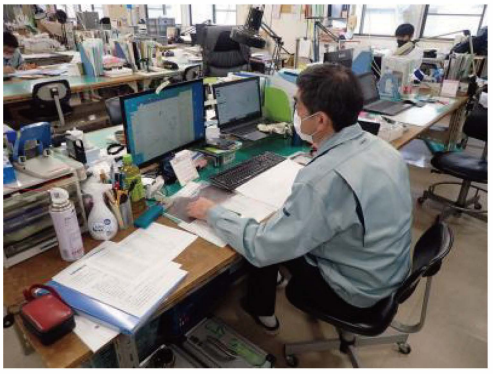
出戻り2回目、5年ぶりに遺跡調査部に帰ってきた：N・Kさん。

これに、昨年度のメンバー、K・I(前田遺跡担当課長)、T・M(前田遺跡調査班長)、S・N(遺跡調査部のエース)

が加わった6名が、令和3年度メンバーとして、前田遺跡の4次調査と膨大な遺物整理作業に挑みます。前田遺跡での発掘作業は最終年度になります。

今年度の前田遺跡の発掘調査は、工事工程の都合もあってＧＷ後から開始します。それまで作業員の雇用準備を始めとする発掘調査事務や準備、

木製品の写真撮影や記録類の作成などの整理作業に早速着手しました。



（雇用関連事務作業）

（木製品の写真撮影作業）

調査員も気力・体力も充実しています。調査までの準備は整いました。

「今年も…さあ、はじめようか　前田遺跡発掘調査を！」